

氏名	こが しゅう へい 古賀 修平	職名	准教授	就任年月	2018年(平成30年)4月
【学歴】	2011年9月 早稲田大学法学部卒業 2014年3月 早稲田大学大学院法学研究科修士課程民事法学専攻修了 2021年3月 早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学				
【取得学位】	修士(法学) (早稲田大学)				
【職歴】	2014年10月 (独) 労働政策研究・研修機構臨時研究協力員(2015年7月迄) 2016年4月 (独) 労働政策研究・研修機構臨時研究協力員、研究助手(2018年3月迄) 2016年10月 東京富士大学非常勤講師(2018年3月迄) 2017年4月 武蔵大学、駿河台大学非常勤講師(2018年3月迄) 2017年4月 かながわ労働センター県央支所専門相談員(外国人労働相談)(2018年3月迄) 2020年9月 宮崎公立大学非常勤講師(現在に至る)				
【専門分野】	労働法				
【研究課題】	労働契約の終了 フランス労働法				
【担当科目】	労働法 社会保障法 社会福祉と法				
【学会・社会活動】	日本労働法学会 宮崎県労働委員会委員研修講師 早稲田大学比較法研究所招聘研究員 宮崎地方最低賃金審議会委員				

【主な研究業績】

区 分 (単・共別)	著 書 ・ 論 文 名 等	発行所・掲載誌・発表学会等	発行・発表 年 月
著 書 (共)	労働判例百選 (第10版)	有斐閣	2022年1月
著 書 (共)	実務家のための労務相談	有斐閣	2020年12月
著 書 (共)	新基本法コンメンタール 労働基準法・労働契約法 [第2版]	日本評論社	2020年8月
著 書 (共)	労働法の基本 (第2版)	法律文化社	2021年5月
論 文 (単)	フランスにおける解雇の救済—近年の動向を踏まえて	季刊労働法 279号 13頁	2022年12月
論 文 (単)	解雇権濫用法理の現代的意義—法的救済と雇用終了の手続的規整の観点から	日本労働研究雑誌 711号 4頁	2019年9月
論 文 (単)	2017年労働法改革と労働契約終了法制	労働法律旬報 1908号 19頁	2018年3月
論 文 (単)	フランスにおける合意解約法制化の意義	日本労働法学会誌 132号 170頁	2017年2月
論 文 (単)	フランスにおける経済的理由による解雇	労働法律旬報 1834号 16頁	2015年1月
その他 (共)	フランス労働法改革の意義と労使関係への影響	労働政策研究・研修機構 資料シリーズ No.211	2019年3月
その他 (共)	フランスにおける解雇にかかる法システムの現状	労働政策研究・研修機構 労働政策研究報告書 No.173	2015年5月
学会発表 (単)	フランスにおける合意解約法制化の意義	日本労働法学会第133回大会 (龍谷大学)	2017年5月